

令和6年度 結城南中学校区新設校進捗報告説明会報告書

1 説明会の実施概要

	会場	実施日時	参加者数
江川南小学校	会議室	令和6年6月19日(水) 14:20～14:50	43人
江川北小学校	体育館	令和6年6月28日(金) 15:10～16:30	50人
上山川小学校	音楽室	令和6年7月 5日(金) 12:40～13:10	28人
山川保育所	ホール	令和6年7月 5日(金) 16:00～16:45	27人
山川小学校	会議室	令和6年7月11日(木) 15:30～16:10	17人
絹川小学校	多目的	令和6年11月29日(金) 18:00～19:00	5人
	集会施設	令和6年11月30日(土) 10:15～10:40	6人
合計(延べ人数)			176人

2 説明会における主な質疑応答のまとめ

(1) 開校時期の延期について

質問・要望	回答	実施場所
① 開校時期が1年延期となったが、さらに延期になることはあるのか。	令和10年度開校を目標として進めていく。そのためには令和7年度からの校舎建設工事のための予算が市議会で承認されることが必要である。	江川北小 上山川小 山川小
② 市議会で予算を承認してからでない校舎建設工事の施工業者が決まらないと思うが、令和10年度開校に間に合うのか。	スケジュールとしては令和7年3月に市議会で予算が承認されて、入札を経て令和7年9月に施工業者と契約締結し、その後、工事に着工する計画である。施工業者が決まらないといったことがないように、無理のない設計を進めていく。	上山川小
③ 校舎建設工事の予算が承認されるまで統合は遅れるのか。予算に関わらず10年度に既存学校を活用して統合するのか。	予算が否決された場合、その理由がすぐに対応可能なものか、1年単位で見直しが必要なものかどうかで変わると考えられる。校舎建設工事のための予算が市議会で承認が得られるように進めていく必要がある。現時点では既存の校舎を利用して統合することは難しいと考える。	江川北小
④ 延期になった理由の一つである杭の納品期間の遅れは、現時点でなぜ分かるのか。	設計の段階で、基礎杭(オーダーメイド品)の納品期間が当初想定の間より時間がかかる見込みである。	江川北小
⑤ 延期になった理由の一つである建設業の週休2日制導入は分かっていたことでは	週休2日制の導入に加えて、今年度から国庫補助金の条件が工事期間の2年から3年に延長されたことに伴い、天候による稼働日	江川北小

ないのか。	数や安全面を考慮し工事期間を３年として計画し直したため。	
-------	------------------------------	--

(２) スクールバスや通学路について

質問・要望	回 答	実施場所
① スクールバスの検討内容を教えてほしい。	令和５年度から小学校ごとに地域連携部会ワーキングチーム（ＰＴＡ、自治会、青少年育成結城市民会議、学校関係者）を立ち上げ、乗降場所やルートを検討し、現在では全１２ルート、１２台が提案されている。	江川南小 江川北小
② スクールバスの乗降場所は決まっているのか。	令和５年度にワーキングチームから提案された乗降場所候補とルート案について、事務局で運行シミュレーションを行った。乗降場所候補の安全性やルート運行上の課題の洗い出しを行った。今後、具体的に候補地を示していくので、その段階で意見をいただきたい。	江川北小 絹川小
③ スクールバスでの下校についても検証しているのか。どうやって通うことになるのか気になる。	低学年と高学年で下校時間が変わるので、それを踏まえて検証していく。まだ公表できる段階にないが、現在は１２台での運行を想定して検討を進めている。	江川北小 絹川小
④ スクールバスを利用する場合、料金はかかるのか。	現時点では無料を想定している。	江川北小
⑤ スクールバスを利用できる範囲は決まっているのか。新設校から２km以内に居住する児童は徒歩通学なのか。	乗降場所は現在の５つの小学校と２kmを超える範囲でワーキングチームが提案する場所を参考に設置する。２km以内の居住児童については、２kmを超えた場所にある乗降場所に行きスクールバス通学とするか、徒歩通学とするか各家庭の判断とする予定である。	上山川小

(３) 放課後児童（学童）クラブについて

質問・要望	回 答	実施回
① 今回のような新設校の説明会において、学童の担当部署も参加して学童クラブについて説明していただきたい。	今後、説明会を開催する際には担当部署と相談し同席を検討する。	江川北小
② 学童は結城南中学校の敷地内に新しく建設なのか、中学校の教室を利用するのか。	学童クラブの担当部署である子ども福祉課で検討しており、今後検討内容について情報提供していく。	山川小

(4) 新設校建設に係る事業費や財源について

質問・要望	回 答	実施回
① 校舎建設に係る事業費と補助金はいくらぐらいなのか。	新設校校舎の建設工事費が約42億4千万円の見込みである。校舎の工事費と委託費を含めた事業費約43億6千万円の財源内訳は国庫補助金が約11億1千万円、市の借入が約26億8千万円、一般財源が約5億7千万円である。	江川北小
② 建設工事費53億円から49億円に下がったのはなぜか。	主な内容は①中央廊下の幅員を当初予定していた4mから既存校舎と同様の2.3mとすることで校舎面積を655㎡縮小②当初予定していた全熱交換機の導入見直し③結城南中学校との共有であるグラウンドの排水工事を別計上としたことによる。	上山川小 山川保育所

(5) 学校種（小中一貫校・義務教育学校）や教育内容について

質問・要望	回 答	実施回
① 小中一貫校のメリットを教えてほしい。新設校は小中一貫校で決定しているのか。	義務教育学校は1人の校長のもと、9年間の教育課程が行われる。一方、小中一貫校は小学校と中学校のそれぞれの校長をはじめとする教職員組織で児童生徒を見守ることができ、かつ9年間の連続した教育課程が実施できる。今回の新設校に関しては、小学校だけでも5つの小学校が統合する大型統合である。そのため小学校児童の環境変化や精神的な不安感への配慮は最優先すべきであり、仮に結城南中学校まで含めた義務教育学校とする場合は、900人規模の大きな学校になることから受験を控える中学生の不安・負担への対応が求められる。これらの検討を経て、新設校の学校形態については小中一貫校とすることが総合的に判断された。	江川北小
② 既存の学校に5校が統合された場合、小中一貫校といえるのか。	小中一貫校には2種類あり小学校と中学校が離れた場所にある施設分離型と同じ敷地内にある施設併設型がある。新設校は小中連携がスムーズにできることから同じ敷地内での施設併設型小中一貫校を進めている。	江川北小

③ 小中一貫教育の教育コンセプトにあるイングリッシュデイや英語のシャワーとは具体的にどのようなものか。	休み時間に英語の音楽をかけたり、日付を定めて1日中英語を中心に会話したりするなどの新しい取り組みである。外国語教室を設置し、ALTが常駐し外国の文化や言語を身近に感じる学習環境を整えることを検討している。	江川北小
④ 各種行事は今までどおり行うのか。	小学校と中学校で入学・卒業式・運動会等の実施時期が違うので、他の小中学校と同様に今までどおりの実施になる。	絹川小
⑤ 運動会を一緒に行うといった義務教育学校の形なのか。	小中一貫校なので小学校・中学校それぞれの校長により組織は別になるため、運動会などの行事は基本的には別々に実施する予定である。また、中学校の教科の先生が小学校でのり入れ授業を行うなど、同じ敷地に中学校と小学校がある強みを生かしていく。	絹川小

(6) 配置計画について

質問・要望	回 答	実施回
① 小学生の遊び場は新設校の広場（中庭・テラス）等と説明があったが、グラウンドで中学生が部活動をしている姿を見たら小学生も一緒に活動したいと感じると思う。また学童の児童の遊び場所はどうか。	小学校と中学校のグラウンドをフェンスで分けることは難しいと考えている。希望すれば小学校高学年から中学校の部活動に参加することも考えられる。また、部活動中の学童クラブの児童の遊び場に関しては、時間帯や場所のルールを協議していく。	上山川小
② グラウンドが小学生と中学生で約30,000㎡使えるとのことだが、共有できるのか。	一緒に活動するときと別々に活動するときのルールを決めて有効に活用できるようにしていく。	山川小
③ スクールバスのロータリーは12台入るのか。12台全部集まって、置き去りや忘れ物の確認をすることはできるのか。	現状のロータリーの計画では難しいため、安全性を確保した運用ができるように検討を進めていく。地域連携部会ワーキングチームでバスのルートや乗降場所を検討しており、新設校へ全台が一気に到着するのではなく時間差で到着するようなシミュレーションをしている。	山川小

④ 児童数 423 人に対して 100 台分の駐車場では少ないと思われるが、中学校の駐車場も利用できるのか。	中学校側に約 100 台分の駐車場を整備する計画である。小中一貫校となるので、行事等の際は共同利用することは可能だと考えている。	山川小
⑤ 駐車場は足りるのか。運動会等の行事の際、駐車場は大丈夫なのか。周辺の土地を借りることができるのか。	雨天時の送迎車も含め検討している。行事の際は、小学校跡地の活用も考慮する。小学校約 100 台、中学校約 100 台分駐車場を敷地内に整備する計画である。	絹川小
⑥ 特別支援学級の教室が以前は 9 学級だったが、6 学級になっている。教室数は足りるのか。	特別支援学級の児童数は、将来の支援が必要な児童を見込むことが難しいため出現率で推計している。以前の 9 学級は令和 5 年度の児童数から推計し、現在の 6 学級は令和 6 年度の出現率を用いて推計している。	山川小
⑦ 通級指導教室を分ける必要があるのか。普通教室との行き来がし易い場所が良いと思う。	通級指導教室は文部科学省から設けることが推奨されており、結城市においても特別支援教育に力を注いでいくという考えから様々な教育的ニーズに対応するために設置し、運用面については今後検討していく。	山川小
⑧ 遊具広場には何の遊具が設置されるか。	遊具の種類については未定であり、今後、児童にどのような遊具があったらよいかアンケートをとり、保護者の意見も参考にして選定する予定である。	山川小
⑨ 給食はどこに届くのか。	給食センターから 1 階の配膳室に届く。2 階の 4～6 年生の給食はコンテナごとエレベーターで昇降し、2 階の配膳室に運ぶ予定。コンテナから各教室までは従前の運営と同様に子どもたちが運ぶことになる。	絹川小
⑩ 1・2 年生の教室から配膳室までが遠い気がする。	ランチルームがあるので、合同で給食をとることも検討している。	絹川小
⑪ 建物がこれだけ大きいと、教室で着替えて体育館までの移動や他の授業での移動教室に間に合わないのではないかな。	体育館を利用する時は、近くに更衣室もあるのでそちらの利用も可能であり、時間割を工夫して支障がないようにする。	絹川小
⑫ 図書室は今までのようなものなのか。	今までの図書室の要素に加えてパソコン教室の機能を持ったメディアセンターが設置される。そこでの授業や外部とのオンライン交流も可能で、様々な活用ができるようになる。	絹川小

⑬ 通常時に児童が使う階段はどこになるのか。	南側は昇降口付近に1つ、北側は体育館付近に1つの計2つであり、主に特別教室への移動に使うようになる。	絹川小
------------------------	--	-----

(7) その他

質問・要望	回 答	実施回
① これまでも既存校舎の利用について議論はあったが、市議会から今回（令和6年3月付帯決議により）はじめて指摘されたのか。	令和3年度の結城市学校適正配置等検討委員会において、既存校舎の利用について検証している。既存校舎の老朽化や吸収合併による統合での児童・住民の心情的な課題が挙げられたため、新設統合が提言された。市議会からは今回はじめて指摘された。	江川南小
② 議会から付帯決議が出され、すぐに教育委員会で延期を決定しているため、行政だけで物事を進めている印象を受ける。延期を決定するにあたって、保護者の意見を聞いてほしかった。	令和2年度から統合に向けていくつもの段階を踏んで、市議会にも説明してきたが、今回はじめて新設校建設について付帯決議が出された状況である。今後は、令和10年度開校を目指して市議会の理解を得られるように引き続き説明を続け、保護者の皆様にも説明会を通じてきめ細かく意見を聞いていく。	江川北小
③ 現在1クラス20人程度で担任が2人ついているが、新しい学校では1クラス40人程度で何人の担任がつくのか。	学級担任は、配置基準により現在と同様に統合後も1人になる。新設校では全ての学年が35人以下で学級編制される。統合後は児童のケアに当たる専門の先生が配置される制度があり、必要に応じて加配により複数体制の授業も想定される。	江川北小
④ 体操服について統合前に決めて揃えていき、新設校になったときに全員が揃っているようにしたい。	順次、学校生活部会で検討していく。	江川北小
⑤ 学区ごとに衣料組合があるが、北部の学区よりも体操服の値段が高いので、新設校に切り替わるタイミングで検討してほしい。	体操服の購入方法については、確認してお知らせする。	江川北小
⑥ 体操服が開校と同時に新しくなるならば、予算を確保して体操服の支給をしてほしい。	保護者の過度の負担にならないよう検討していく。	江川北小

⑦ 小中一貫校として小学校と中学校の体操服を合わせていくことはあるか。	学年別に3種類ある中学校の体操服を統一したうえで、小学校でも同じ体操服を使用することも含め、保護者の負担軽減を検討していく。	山川保育所
⑧ 結城南中学校の改修工事が夏休みに行われるが、間に合わないと聞いているがどうなのか。	今年の夏休みに実施する工事は、結城南中学校の給排水管改修工事と廊下から教室に入る扉の高さを変える改修工事である。工期は2月までを設けており、それが遅れるといった話は現在ではない。スケジュールどおり進めるように管理していく。	江川北小
⑨ 中学校のテニスコートが解体工事の影響で使えなくなっている。現在使っている北側のサブコートは使いにくい。	南側のテニスコートのうち1面は、工事の影響で使えないが、残りの3面は学校判断で使っていないと思われる。北側のサブコートは今後整備される予定であり、年内に完了する見込みである。	山川保育所
⑩ 旧校舎の活用について、どこまで進んでいるのか。	統合になると5つの学校が閉校となる。行政での利用、地域での利用、民間での利用が考えられる。今年度は、民間事業者に跡地利活用のアイデアがあるかサウンディング調査を実施する予定である。	江川北小
⑪ 今回初めて保育所で説明会を実施したので、初めて資料を見た保護者もいると思うが、今後も説明会を行う予定はあるか。	今後も引き続き、説明会や意見交換会を開催していく。	山川保育所
⑫ 絹川小学校は、結城東中の学区になるのではないか。	小森・久保田・慶福・宮崎の4地区は結城東中学校区、その他の地区は結城南中学校区になっている。新設校は小中一貫校になるので、9年間のつながりをもった学習ができる。小中一貫教育の継続を理由とした学区外申請を出していただければ、現在東中学区の4地区についても南中学校へ入学が可能になるよう柔軟に対応する予定である。	絹川小
⑬ プール学習はどうなるのか。	新設校にプールは設置されないので、現在の南中学校と同様に外部委託になる。	絹川小
⑭ 年間を通して、児童生徒の校舎間の行き来はどのくらいになるのか。	小学生が中学校校舎へ行って活動するというのは、建物の基準が違ってくるため難しいが、中学生は小学校の特別教室等の利活用を積極的に図っていく。	絹川小

⑮ 新設校舎の Wi-Fi 環境はどうなるのか。	全館になる予定。	絹川小
⑯ 工事の騒音は大丈夫なのか。	中学校の学校運営に支障がないように配慮し、近隣へも注意を払って実施する。	絹川小
⑰ 授業参観など、これまでより人数が増えると思うが大丈夫なのか。	普通教室の廊下側の扉を全開にすることができるので、ワークスペースと一体的な広さを確保できる。	絹川小
⑱ 統合後のクラス数はどれくらいか。	1～4年生は2クラス、5～6年生は3クラスになる見込みである。	絹川小
⑲ 新設校に入るのは今の在校生では1・2年生だけなので、説明会を実施しても参加人数は少ないのだと思う。説明会は授業参観など保護者が集まっている時や保育園児の保護者などを対象に実施したほうが良いのではないか。	今後は授業参観や保育参観などで保護者が集まる機会に実施できるよう調整していく。	絹川小